

こども食堂の風景¹

佐藤幸男

La Mensa Degli Angeli はイタリア語で、「天使の食卓」という意味です。こども食堂は、カトリック府中教会（以下府中教会）内で開催されています。府中教会は、ミラノ外国宣教会によって献堂された教会で、司祭は常にミラノ外国宣教会の神父様が任命されます。こども食堂「天使の食卓」の名称は、当時の主任司祭であった、レンボ・アンドレア神父様（現在、東京教区補佐司教）によるものです。

こども食堂は、月に2回、第2と第4土曜日の11時30分から13時30分までの間行っています。30食限定ですが、未就学児では食べられる量が少なくなるので、あらかじめ親御さんに伺って盛り付けしています。実際には、こどもとおとなを含めて、40食程度提供しています。

利用料金は、こどもはもちろんですが、大人も無料にしています。当初は、こども無料、大人300円にしていたのですが、府中教会（宗教法人）が運営しているので、少額でも収益を上げることができないと財務担当から注意を受けました。その後、利用者に献金をお願いしましたところ、おつりが出せないことから、かえって負担が大きくなってしまいました。結局、資金は信徒からの献金に頼り、おとなも無料にしました。献金を上回る支出については、教会の運営資金から拠出されます。こども食堂は教会のミッションとして、全面的にバックアップされています。

1. こども食堂って何だろう